

令和6年度 第5回豊南地域会議 会議録

■日 時 令和6年9月19日（木）午後6時30分～午後8時

■会 場 豊南交流館 1階 大会議室

■出席者 <委 員> 伊勢 宣孝 宇野 純一 浦 裕美 川上 正弘
桑山 正己 小玉 知子 相馬 照雄 辻川 厚良
富田 雅司 中島 浩 松本 和市
※欠席者 宇野 昇 大冨 晃 小林 俊一
小林 輝弥 高橋 恵利加
<事務局> 杉浦 智文（地域支援課 課長）
大平 直樹（地域支援課 担当長）
杉浦 由里江（地域支援課 主事）

■次 第

開 会

- 1 豊田市民の誓い唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 提言に向けた協議について（グループワーク）
- 4 連絡事項

閉 会

■議 事（要約）

3 グループワーク ※事前課題あり

- ①小さいこどもを持つ親が働きづらい
- ②こどもの遊び場がない（こどもが安全に遊べる場がない）
- ③若者が地域活動に参加しにくい

以上3点について、「地域でできること」「行政にやってほしいこと」を考える
各グループからでた意見は以下のとおり

【Aグループ】

- ①小さいこどもを持つ親が働きづらい

<地域としてできること>

- ・小さいこどもが安心して遊べる場所の提供（区民会館等）
- ・こどもの親が順番で見守りをする
- ・子ども会活動を活性化させる
- ・こどもを持つ親同士の連携を図る

- ・家事サービスの補助制度（お助け隊）
- ・放課後の居場所を地域に作る
- ・地域内のボランティアによるこども預かり、見守りサービス

＜行政にやってほしいこと＞

- ・市立で小さいこどもを預けられるこども園等の施設を作る
（少子化が進むことを考えると無駄になってしまう可能性大）
- ・こども園の有効活用、子育て支援拠点の増設、充実
- ・家族で出かけられる、わくわくできる場所を作る
- ・親の出勤時間に合わせて、朝の早い時間帯からこどもを預けられる場所を作る
- ・子育て世代への意見を聞く場や困っている事に耳を傾ける、当事者の声を聴く
- ・気軽に預けることが出来る制度や施設の検討

②こどもの遊び場がない（こどもが安全に遊べる場がない）

＜地域としてできること＞

- ・雨天時は自治区区民会館の中で遊べるよう整備
- ・区民会館を常に開放する。自治区役員だけではなく、高齢者クラブや子ども会の活動拠点として常に人がいるようにする
- ・外出を呼びかける（一日5千歩運動）
- ・地域の憩いの場のような、大人からこどもまで楽しく過ごせる場所を作る

＜行政にやってほしいこと＞

- ・駐車場がないと親が送り迎えできない、こどもが遊ぶ場所の駐車場整備
- ・空き地の有効活用（市が借り上げ）
- ・ふれあい広場の芝刈り、遊具の設置等
- ・目を離しても安心して遊ばせられる場所の整備
- ・日陰、ベンチの設置
- ・天候を気にしなくても遊べる屋内の遊び場を提供

③若者が地域活動に参加しにくい

＜地域としてできること＞

- ・自治区行事を開催する際は小学生以下が参加しやすいゲームを取り入れる
→親が小さいこどもを連れてきやすくなる
- ・仕事しながら地域活動に参画できるよう自治区内行事の見直し、簡素化
- ・若者をターゲットにしたイベントを開催する
- ・若者サークルの助成をする（消防団等）

＜行政にやってほしいこと＞

- ・市役所が土日でも対応できるようにする
- ・魅力のある街づくりを行う、外に何も無いからひきこもりやゲームばかりになる
- ・アウトドア施設の整備 キャンプ場やオートキャンプ場
- ・交通機関の整備

【Bグループ】

①小さいこどもを持つ親が働きづらい

＜地域としてできること＞

- ・区民会館を開放する、もっと活用する
- ・こども食堂
- ・急病等でどうしても都合がつかないとき、気軽に預けられる場所を確保
- ・こどもを地域で育てるという意識をもつ
- ・高齢者がベビーシッターの役割を担う
- ・幼稚園の送迎を地域でサポート（高齢者クラブ等）
- ・交流館や区民会館でこどもの見守り対応を行う
→施設を有効活用できていない、人材と費用が足りていない
- ・空き家を活用する
- ・こどもをもつ親が働ける環境を作る
 - 1 こどもを預ける場所の確保（交流館、児童館、区民会館、地域内空き家）
 - 2 こどもを見てくれる人の確保（地域内高齢者）
- ・学童保育終了後に預けられる場所を確保する

＜行政にやってほしいこと＞

- ・幼老共生施設を作る、こども園と老人ホーム施設を隣につくる
- ・幼稚園、保育園の完全入園化
- ・企業への働きかけをする、時短、フレックス、リモート、企業内託児所等
- ・祝日と勤務日の合致
- ・交流館の会議室無償化（こども限定）
- ・人材派遣（シルバー人材センター）
- ・区民会館の光熱費補助
- ・公共施設の開放、責任者の派遣
- ・空き家の利用促進、制度設計
- ・学童保育年齢引き上げ
- ・放課後保育の延長、こどもが退屈せず、役立つ内容の授業を行う

②こどもの遊び場がない（こどもが安全に遊べる場がない）

＜地域としてできること＞

- ・昔のこども遊びの紹介
- ・公園の手入れ、活用
- ・区民会館で放課後児童クラブのような対応を行う、シニア層や保護者で見守り
- ・わくわく事業を活用して見守り団体を作る

＜行政にやってほしいこと＞

- ・空き家を遊び場にする
- ・交流館の使用料を市で負担する
- ・中小企業への支援
- ・小学校の開放

- ・ 交流館の利用について、予約がないときは無料にする
- ・ 道路が遊び場にできるように車両の進入禁止ゾーンを増やす
- ・ 公園整備に関する補助
- ・ 体育館で予約がないときはこどもに開放
- ・ 見守る人への手当を支給

③若者が地域活動に参加しにくい

<地域としてできること>

- ・ 活動／行事を、若者向けする内容に変える
- ・ SNS 活用で情報を展開
- ・ 活動参加者への賞品を渡す
- ・ 各地区で「老人会」ではなく「青年会」を立ち上げ、暮らしの情報交換の場とする
- ・ 短期ボランティア活動への参画
- ・ 働きながらも役員を担えるよう業務の在り方を検討
- ・ 地域行事の積極的な宣伝
- ・ 自主防災会のイベントで炊き出し等を行う

<行政にやってほしいこと>

- ・ SNS 等を活用して情報発信
- ・ ラリー等、若者が関心のあるイベントを開催する
- ・ 地区を超えた人材派遣
- ・ 地域ボランティアの紹介（人・活動）
- ・ 防災キャンプ等地域と連携したイベントの開催

<次回開催日>

令和6年10月17日（木）午後6時30分から 豊南交流館